

在籍職員10名 回答職員10名 回答率100%

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	0	職員数が子どもの比率に比べ高く、一人ひとり手厚く支援することができる
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	1	部屋ごとに施錠をするため室内移動の際、子どもだけで次の活動の部屋に異動することが難しい。子どもが自身で見通しを持って行動する機会をなくしているのではないかと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	1	活動部屋に窓がないため空気の循環が悪い。
対策 進捗状況		除菌効果の高い空気清浄機を各部屋に導入し活用。また、定期的に窓を開け空気の入替えを実施している。部屋ごとの施錠に関しては、次の活動の移動前に扉を開けて、自分の意思で次の活動場所に移動できるよう配慮している。				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	2	パート職員が会議にあまり参加できていない。事業目標に対する振り返りが不十分。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	どのように公開しているのかわからない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	2	開設初年度のため第三者委員の評価を受けていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	
対策 進捗状況		PM15:00までの勤務のパート職員が会議に参加できる機会がないため、今後は、少しずつではあるが子どもの午睡時間を利用しクラスごとの会議やカンファレンス、業務の振り返り等の出席できる体制づくりを行っていく。自己評価、保護者向け評価については、この後、集計が済み次第、随時ホームページに掲載していく。				
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	0	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	1	担当職員が作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	月案・週案・日案・朝のカンファレンス・紙面等で確認している。活動終わりには、職員間で振り返りを行い、次回に反映している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	
対策進捗状況	適切な支援の提供方法として、現状実施している「支援計画作成までの流れ」「活動」「記録」については継続していく。					
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	1	児童発達支援管理者が窓口となり関係機関とのやり取りの業務を行っているため担当職員も連携できる仕組みを整えてほしい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	0	特別支援は、理学療法士、作業療法士の職員が行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	0	0	保護者様には受診後の様子や医師の指示等の変更の有無の確認はしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	0	平行通園の児童に関しては、支援計画の評価月に園を訪問し連携ができてよかった。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	1	小学校の選択に迷った保護者様とは一緒に学校を訪問しその子に合った支援について検討できた。「かけはしシート」は作成し提出したが、入学後の情報共有の機会が必要と感じている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	1	児童連絡会には代表が出席しているが、その情報についての共有の場がない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	5	コロナの影響でほとんど実施できず。しかし、同じ敷地内のこども園の遊具をお借りしての交流の機会は作ることができた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	1	2	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	口頭だけではなく定期的にビデオや写真を活用しながらこちらで過ごす様子をお伝えし保護者と課題を共有しながら見つけている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	0	1	
対策進捗状況	関係機関とのやり取りについては児童発達支援管理者が窓口となり連携を行っているが、その内容について全職員と共有できていない。今後は、事業所の会議の中で伝達していく。また、コロナの影響で実施できなかったことを振り返り、代替えで発信できることを検討していく。					

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0	説明は丁寧に行っているが、職員による説明方法の統一がされていない。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0	支援計画説明後の保護者の思い等の情報の共有をするツールのあることの職員への周知が不十分。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	子どもの今の発達段階と保護者の思いをよく伺いその子の次なる目標に向かえるよう可能な範囲で対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	1	写真を掲示し、行事での様子を伝えられているが、定期的なクラス便りの発行はできていない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1	1	
対策進捗状況	保護者様への契約時の説明マニュアルの作成を行っている。 また、保護者様の「思い」や「願い」についても、会議等を活用し共有していく。					
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	0	事業所単独訓練を月1回、施設全体の合同訓練を年3回実施。他部署からの応援体制もその都度確認している。訓練終了後の振り返りも実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0	食物アレルギー表をもとに医師の指示書、アレルギー発症時の対応について、保護者と十分話し合いマニュアルとフローチャート作成しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	些細なことでも職員間で共有し再発防止に努めている。共有という部分においては不十分。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	1	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1	0	安全面と危険性の両面からの子どもの過ごし方の対応については検討していく必要がある。	
対策進捗状況	事故発見者・報告者が「事故報告書」を記載し、その対策を記載。評価日を設定し、その対策の振り返りを実施しているが、この会議も全職員が参加できていない。全職員の勤務時間内での情報の共有について業務改善を検討中。					